

# 1. 英語英米文学科授業科目一覧表

《2023年度以降入学生に適用》

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	履修方法
基礎科目群	◎英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB 初級独語A・B・C・D、 初級仏語A・B・C・D、初級中国語A・B・C・D、 初級韓国語A・B・C・D、各① 論述・作文A、論述・作文B 各② コンピュータ基礎A、コンピュータ基礎B 各②	◎英語ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB 応用英語A・B・C・D、 応用独語A・B・C・D、 応用仏語A・B・C・D、 応用中国語A・B・C・D、応用韓国語A・B・C・D 各①			◎英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB・ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB必修 (8単位) ※英語については2年次配当の応用英語A・B・C・Dは 8単位に含めないで注意すること。
	日本語A、日本語B、日本語C、日本語D、応用日本語A、応用日本語B 各①	コンピュータ応用A、コンピュータ応用B、コンピュータ応用C 各②			履修必修 「コンピュータ基礎A・B」は履修必修
					※「日本語A・B・C・D、応用日本語A・B」は外国人留学生 だけが履修できる。
教養科目	哲学、倫理学、宗教学、日本史、日本近代史、北海道史、世界史A、世界史B、世界の音楽、東洋の美術、ヨーロッパの美術、 世界の言語と日本語、言語と社会、言語と数理、日本文学、外国文学、現代と法、日本国憲法、人権論、くらしと現代経済、現代ビジネス論、社会学、北海道社会論、アジア事情A、 アジア事情B、教育学、現代の福祉、心理学、健康科学、スポーツと健康、統計学、物理学、地学、地球の科学、生命科学、自然科学概論、環境論、日本史概説(教)、西洋史概説(教)、東洋史概説(教) 人文地理学概説(教)、自然地理学概説(教)、地誌学概説(教)、法学概説(教)、経済学概説(教) 各② スポーツA、スポーツB 各①				6単位以上選択必修
総合科目群	キャリア数学A① 職業と人生A② コンピュータサイエンス概論②、データサイエンス概論②	キャリア数学B① 職業と人生B②	ビジネス数学② 職業と人生C② 職業と人生D②		
	キャリアデザイン演習A②	キャリアデザイン演習B、企業の経営と仕事 ②			
	心理学検定演習A・B・C・D・E 各②		精神保健課題演習A ②	精神保健課題演習B 精神保健課題演習C 各②	
総合	教養ゼミナールA、教養ゼミナールB 各②				
地域連携科目群	地域貢献A②、地域貢献B②、地域貢献C②、地域貢献D②、地域貢献活動A①、地域貢献活動B①、地域貢献活動C①、地域貢献活動D①	全学共通特別演習A、全学共通特別演習B 各②	全学共通特別演習C、全学共通特別演習D 各②		
グローバル科目群	日本語を教えるA、日本語を教えるB、異文化グループワークA、異文化グループワークB、プロジェクトマネジメント入門、TOEICトレーニングA、TOEICトレーニングB、TOEICトレーニングC、TOEICトレーニングD、 海外スタディⅠ、海外スタディⅡ、グローバルインターンシップⅠ、グローバルインターンシップⅡ、グローバルボランティアⅠ、グローバルボランティアⅡ 各②				
計					教養科目計 24単位以上
区分	1年次	2年次	3年次	4年次	
専門科目	◎英文講読A、◎英文講読B、 ◎Oral CommunicationA、◎Oral CommunicationB ◎English WritingA、 各②	◎英文講読C、◎英文講読D、◎Oral CommunicationC CALL演習、 ◎English WritingB、 English WritingC 英語圏の社会A、英語圏の社会B 英語コミュニケーション論A、英語コミュニケーション論B Business EnglishA、Business EnglishB Speech MakingA、Speech MakingB 各②	Discussion、Current English、資格・検定英語 各②		18単位指定必修 ◎は必修とする。
	Oral Communication D ② ※注4				
	英語学	英語文法論A、英語文法論B 各②	英語音声学A、英語音声学B 各②	英語学A、英語学B 各②	英語学から4単位以上選択必修
	英米文学	英米文学への誘い ②	英米文学史A、英米文学史B、英米文学史C 各②	英米文学の世界A、英米文学の世界B、英米文学の世界C、英米文学の世界D 各②	英米文学から4単位以上選択必修
	英語コミュニケーション		コミュニケーションスキルズ基礎 ②	異文化コミュニケーションスキルズA、異文化コミュニケーションスキルズB 各②	英語コミュニケーションから4単位以上選択必修
	英米文化	英米文化論A、英米文化論B 各② 留学・観光英語A、留学・観光英語B 各②	英米史A、英米史B 各②	英米社会研究A、英米社会研究B 各②	英米文化から4単位以上選択必修
	演習			◎専門ゼミナールA、◎専門ゼミナールB 各②	◎専門ゼミナールC②、 ◎専門ゼミナールD② 卒業論文⑥
計					専門科目計 62単位以上
合計					124単位以上(注1)

注1:英語英米文学科の卒業要件は、教養科目24単位以上+専門科目62単位以上(十教養科目または専門科目から38単位以上)＝124単位以上の修得となります。

注2:科目名に続く○内の数字は単位数を表します。

注3:他学部他学科授業科目の単位を修得した場合、別に定める区分に従い、教養科目として8単位(教養科目群から修得すべき最低修得単位数からは除く)、専門科目として24単位を上限に課程修了の要件に加工します。

注4:Oral Communication Dは、All English Camp(宿泊を伴う夏期集中講義)です。

# 1. 英語英米文学科授業科目一覧表

《2022年度以降入学生に適用》

区分	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		履修方法	
教養科目	基礎科目群	◎英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB 初級独語A・B・C・D、 初級仏語A・B・C・D、初級中国語A・B・C・D、 初級韓国語A・B・C・D、各①		◎英語ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB 応用英語A・B・C・D、 応用独語A・B・C・D、 応用仏語A・B・C・D、 応用中国語A・B・C・D、応用韓国語A・B・C・D 各①				◎英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB・ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB必修 (8単位) ※英語については2年次相当の応用英語A・B・C・Dは 8単位に含めないで注意すること。		
		論述・作文A、論述・作文B 各②						履修必修		
		コンピュータ基礎A、コンピュータ基礎B 各②		コンピュータ応用A、コンピュータ応用B、コンピュータ応用C 各②				「コンピュータ基礎A・B」は履修必修		
		日本語A、日本語B、日本語C、日本語D、応用日本語A、応用日本語B 各①						※「日本語A・B・C・D、応用日本語A・B」は外国人留学生 だけが履修できる。		
	人文・社会・健康・ 自然科目群	哲学、倫理学、宗教学、日本史、日本近代史、北海道史、世界史A、世界史B、世界の音楽、東洋の美術、ヨーロッパの美術、 世界の言語と日本語、言語と社会、言語と教理、日本文学、外国文学、現代と法、日本国憲法、人権論、くらしと現代経済、現代ビジネス論、社会学、北海道社会論、アジア事情A、 アジア事情B、教育学、現代の福祉、心理学、健康科学、スポーツと健康、統計学、物理学、地学、地球の科学、生命科学、自然科学概論、環境論 各②		スポーツA、スポーツB 各①				6単位以上選択必修		
	総合科目群	キャリア	キャリア数学A① 職業と人生A② コンピュータサイエンス概論②、データサイエンス概論②		キャリア数学B① 職業と人生B②		ビジネス数学② 職業と人生C② 職業と人生D②			
			キャリアデザイン演習A②		キャリアデザイン演習B、企業の経営と仕事 ②					
		総合	心理学検定演習A・B・C・D・E 各②				精神保健課題演習A ② 精神保健課題演習B ②			
	地域連携科目群	教養ゼミナールA、教養ゼミナールB 各②		全学共通特別演習A、全学共通特別演習B 各②		全学共通特別演習C、全学共通特別演習D 各②				
	グローバル科目群	地域貢献A②、地域貢献B②、地域貢献C②、地域貢献D②、地域貢献活動A①、地域貢献活動B①、地域貢献活動C①、地域貢献活動D①								
グローバル科目群	日本語を教えるA、日本語を教えるB、異文化グループワークA、異文化グループワークB、プロジェクトマネジメント入門、TOEICトレーニングA、TOEICトレーニングB、TOEICトレーニングC、TOEICトレーニングD、 海外スタディⅠ、海外スタディⅡ、グローバルインターンシップⅠ、グローバルインターンシップⅡ、グローバルボランティアⅠ、グローバルボランティアⅡ 各②									
計									教養科目計 24単位以上	
区分	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次			
専門科目	実用英語	◎英文講読A、◎英文講読B、 ◎Oral CommunicationA、◎Oral CommunicationB ◎English WritingA、 各②		◎英文講読C、◎英文講読D、◎Oral CommunicationC CALL演習、 ◎English WritingB、 English WritingC 英語圏の社会B、英語圏の社会A 英語コミュニケーション論A、英語コミュニケーション論B Business EnglishA、Business EnglishB Speech MakingA、Speech MakingB 各②		Discussion、Current English、資格・検定英語 各②				18単位指定必修 ◎は必修とする。
		Oral Communication D ② ※注4								
	英語学	英語文法論A、英語文法論B 各②		英語音声学A、英語音声学B 各②		英語学A、英語学B 各②				英語学から4単位以上選択必修
	英米文学	英米文学への誘い ②		英米文学史A、英米文学史B、英米文学史C 各②		英米文学の世界A、英米文学の世界B、英米文学の世界C、英米文学の世界D 各②				英米文学から4単位以上選択必修
	英語コミュニケーション			コミュニケーションスキルズ基礎 ②		異文化コミュニケーションスキルズA、異文化コミュニケーションスキルズB 各②				英語コミュニケーションから4単位以上選択必修
	英米文化	英米文化論A、英米文化論B 各②		英米史A、英米史B 各②		英米社会研究A、英米社会研究B 各②				英米文化から4単位以上選択必修
演習	留学・観光英語A、留学・観光英語B 各②				◎専門ゼミナールA、◎専門ゼミナールB 各②		◎専門ゼミナールC②、 専門ゼミナールD② 卒業論文⑥		6単位指定必修 ◎は必修とする。	
計									専門科目計 62単位以上	
合計									124単位以上(注1)	

注1:英語英米文学科の卒業要件は、教養科目24単位以上+専門科目62単位以上 (十教養科目または専門科目から38単位以上) =124単位以上の修得となります。

注2:科目名に続く○内の数字は単位数を表します。

注3:他学部他学科授業科目の単位を修得した場合、別に定める区分に従い、教養科目として8単位(教養科目群から修得すべき最低修得単位数からは除く)、専門科目として24単位を上限に課程修了の要件に加算します。

注4:Oral Communication Dは、All English Camp(宿泊を伴う夏期集中講義)です。

《2022年度以降入学生に適用》

# 1. 英語英米文学科授業科目一覧表

《2021年度以降入学生に適用》

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	履修方法	
教養科目	基礎科目群	◎英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB 初級独語A・B・C・D、 初級仏語A・B・C・D、初級中国語A・B・C・D、 初級韓国語A・B・C・D、各①	◎英語ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB 応用英語A・B・C・D、 応用独語A・B・C・D、 応用中国語A・B・C・D、応用韓国語A・B・C・D 各①			◎英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB・ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB必修 (8単位) ※英語については2年次相当の応用英語A・B・C・Dは 8単位に含めないで注意すること。	
		論述・作文A、論述・作文B 各②				履修必修	
		コンピュータ基礎A、コンピュータ基礎B 各②	コンピュータ応用A、コンピュータ応用B、コンピュータ応用C 各②			「コンピュータ基礎A・B」は履修必修	
		日本語A、日本語B、日本語C、日本語D、応用日本語A、応用日本語B 各①				※「日本語A・B・C・D、応用日本語A・B」は外国人留学生 だけが履修できる。	
	人文・社会・健康・ 自然科目群	哲学、倫理学、宗教学、日本史、日本近代史、北海道史、世界史A、世界史B、世界の音楽、東洋の美術、ヨーロッパの美術、 世界の言語と日本語、言語と社会、言語と数理、日本文学、外国文学、現代と法、日本国憲法、人権論、くらしと現代経済、現代ビジネス論、社会学、北海道社会論、アジア事情A、 アジア事情B、教育学、現代の福祉、心理学、健康科学、スポーツと健康、スポーツA、統計学、物理学、地学、地球の科学、生命科学、自然科学概論、環境論 各②				6単位以上選択必修	
	総合科目群	キャリア	キャリア数学A① 職業と人生A② コンピュータサイエンス概論②、データサイエンス概論② キャリアデザイン演習A②	キャリア数学B① 職業と人生B② キャリアデザイン演習B、企業の経営と仕事 ②	ビジネス数学② 職業と人生C② 職業と人生D②		
		総合	教養ゼミナールA、教養ゼミナールB 各②				
地域連携科目群	地域貢献A②、地域貢献B②、地域貢献C②、地域貢献D②、地域貢献活動A①、地域貢献活動B①、地域貢献活動C①、地域貢献活動D①						
グローバル科目群	日本語を教えるA、日本語を教えるB、異文化グループワークA、異文化グループワークB、プロジェクトマネジメント入門、TOEICトレーニングA、TOEICトレーニングB、TOEICトレーニングC、TOEICトレーニングD、 海外スタディⅠ、海外スタディⅡ、グローバルインターンシップⅠ、グローバルインターンシップⅡ、グローバルボランティアⅠ、グローバルボランティアⅡ 各②						
計						教養科目計 24単位以上	
区分		1年次	2年次	3年次	4年次		
専門科目	実用英語	◎英文講読A、◎英文講読B、 ◎Oral CommunicationA、◎Oral CommunicationB ◎English WritingA、 各②	◎英文講読C、◎英文講読D、◎Oral CommunicationC CALL演習、 ◎English WritingB、 English WritingC 英語圏の社会A、英語圏の社会B 英語コミュニケーション論A、英語コミュニケーション論B Business EnglishA、Business EnglishB Speech MakingA、Speech MakingB 各②	Discussion、Current English、資格・検定英語 各②		18単位指定必修 ◎は必修とする。	
		Oral Communication D ② ※注4					
	英語学	英語文法論A、英語文法論B 各②	英語音声学A、英語音声学B 各②	英語学A、英語学B 各②		英語学から4単位以上選択必修	
	英米文学	英米文学への誘い ②	英米文学史A、英米文学史B、英米文学史C 各②	英米文学の世界A、英米文学の世界B、英米文学の世界C、英米文学の世界D 各②		英米文学から4単位以上選択必修	
	英語コミュニケーション		コミュニケーションスキルズ基礎 ②	異文化コミュニケーションスキルズA、異文化コミュニケーションスキルズB 各②		英語コミュニケーションから4単位以上選択必修	
	英米文化	英米文化論A、英米文化論B 各②		英米社会研究A、英米社会研究B 各②		英米文化から4単位以上選択必修	
		留学・観光英語A、留学・観光英語B 各②					
演習			◎専門ゼミナールA、◎専門ゼミナールB 各②	◎専門ゼミナールC②、 専門ゼミナールD② 卒業論文⑥	6単位指定必修 ◎は必修とする。		
計						専門科目計 62単位以上	
合計						124単位以上(注1)	

注1:英語英米文学科の卒業要件は、教養科目24単位以上+専門科目62単位以上 (+教養科目または専門科目から38単位以上) =124単位以上の修得となります。

注2:科目名に続く○内の数字は単位数を表します。

注3:他学部他学科授業科目の単位を修得した場合、別に定める区分に従い、教養科目として8単位(教養科目群から修得すべき最低修得単位数からは除く)、専門科目として24単位を上限に課程修了の要件に加工します。

注4:Oral Communication Dは、All English Camp(宿泊を伴う夏期集中講義)です。

《2021年度以降入学生に適用》

# 1. 英語英米文学科授業科目一覧表

《2020年度以降入学生に適用》

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	履修方法
基礎科目群	◎英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB 初級独語A・B・C・D、 初級仏語A・B・C・D、初級中国語A・B・C・D、 初級韓国語A・B・C・D、各①	◎英語ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB 応用英語A・B・C・D、 応用独語A・B・C・D、 応用仏語A・B・C・D、 応用中国語A・B・C・D、応用韓国語A・B・C・D 各①			◎英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB・ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB必修 (8単位) ※英語については2年次相当の応用英語A・B・C・Dは 8単位に含めないの注意すること。
	論述・作文A、論述・作文B 各②				履修必修
	コンピュータ基礎A、コンピュータ基礎B 各②	コンピュータ応用A、コンピュータ応用B、コンピュータ応用C 各②			「コンピュータ基礎A・B」は履修必修
	日本語A、日本語B、日本語C、日本語D、応用日本語A、応用日本語B 各①				※「日本語A・B・C・D、応用日本語A・B」は外国人留学生 生だけが履修できる。
	人文・社会・健康・ 自然科目群	哲学、倫理学、宗教学、日本史、日本近代史、北海道史、世界史A、世界史B、世界の民族音楽、東洋の美術、ヨーロッパの美術、 世界の言語と日本語、言語と社会、言語と数理、日本文学、外国文学、現代と法、日本国憲法、人権論、くらしと現代経済、現代ビジネス論、社会学、北海道社会論、アジア事情A、 アジア事情B、教育学、現代の福祉、心理学、健康科学、スポーツと健康、スポーツA、統計学、物理学、地学、地球の科学、生命科学、自然科学概論、環境論 各②			6単位以上選択必修
	キャリア	キャリア数学A① 職業と人生A② キャリアデザイン演習A②	キャリア数学B① 職業と人生B② キャリアデザイン演習B、企業の経営と仕事 ②	キャリア数学C① 職業と人生C② 職業と人生D②	
	総合	教養ゼミナールA、教養ゼミナールB 各②	全学共通特別演習A、全学共通特別演習B 各②	全学共通特別演習C、全学共通特別演習D 各②	
	地域連携科目群	地域貢献A②、地域貢献B②、地域貢献C②、地域貢献D②、地域貢献活動A①、地域貢献活動B①、地域貢献活動C①、地域貢献活動D①			
	グローバル科目群	日本語を教えるA、日本語を教えるB、異文化グループワークA、異文化グループワークB、プロジェクトマネジメント入門、TOEICトレーニングA、TOEICトレーニングB、TOEICトレーニングC、TOEICトレーニングD、 海外スタディⅠ、グローバルインターンシップⅠ、グローバルボランティアⅠ 各②	海外スタディⅡ、グローバルインターンシップⅡ、グローバルボランティアⅡ 各②		
	計				
区分	1年次	2年次	3年次	4年次	
専門科目	実用英語	◎英文講読A、◎英文講読B、 ◎Oral CommunicationA、◎Oral CommunicationB ◎English WritingA、 各②	◎英文講読C、◎英文講読D、◎Oral CommunicationC CALL演習、 ◎English WritingB、 English WritingC 英語圏の社会A、英語圏の社会B 英語コミュニケーション論A、英語コミュニケーション論B Business EnglishA、Business EnglishB Speech MakingA、Speech MakingB 各②	Discussion、Current English、資格・検定英語 各②	18単位指定必修 ◎は必修とする。
	英語学	英語文法論A、英語文法論B 各②	英語音声学A、英語音声学B 各②	英語学A、英語学B 各②	英語学から4単位以上選択必修
	英米文学	英米文学への誘い ②	英米文学史A、英米文学史B、英米文学史C 各②	英米文学の世界A、英米文学の世界B、英米文学の世界C、英米文学の世界D 各②	英米文学から4単位以上選択必修
	英語コミュニケーション		コミュニケーションスキルズ基礎 ②	異文化コミュニケーションスキルズA、異文化コミュニケーションスキルズB 各②	英語コミュニケーションから4単位以上選択必修
	英米文化	英米文化論A、英米文化論B 各② 留学・観光英語A、留学・観光英語B 各②	英米史A、英米史B 各②	英米社会研究A、英米社会研究B 各②	英米文化から4単位以上選択必修
	演習			◎専門ゼミナールA、◎専門ゼミナールB 各②	◎専門ゼミナールC②、 専門ゼミナールD② 卒業論文⑥
	計				
合計					124単位以上(注1)

注1:英語英米文学科の卒業要件は、教養科目24単位以上+専門科目62単位以上 (+教養科目または専門科目から38単位以上) =124単位以上の修得となります。

注2:科目名に続く○内の数字は単位数を表します。

注3:他学部他学科授業科目の単位を修得した場合、別に定める区分に従い、教養科目として8単位(教養科目群から修得すべき最低修得単位数からは除く)、専門科目として24単位を上限に課程修了の要件に加工します。

注4:Oral Communication Dは、All English Camp(宿泊を伴う夏期集中講義)です。

《2020年度以降入学生に適用》

# 1. 英語英米文学科授業科目一覧表

《2017年度入学生に適用》

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	履修方法	
基礎科目群	英語ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB、初級独語A・B・C・D、初級仏語A・B・C・D、初級中国語A・B・C・D、初級韓国語A・B・C・D、各①	英語ⅢA・ⅣA・ⅢB・ⅣB、応用英語A・B・C・D、応用独語A・B・C・D、応用仏語A・B・C・D、応用中国語A・B・C・D、応用韓国語A・B・C・D 各①			英語8単位必修 ※英語については2年次相当の応用英語A・B・C・Dは8単位に含めないで注意すること。	
	論述・作文A、論述・作文B 各②				履修必修	
	コンピュータ基礎A、コンピュータ基礎B 各②	コンピュータ応用A、コンピュータ応用B、コンピュータ応用C、コンピュータ応用D 各②			「コンピュータ基礎A・B」は履修必修	
	日本語A、日本語B、日本語C、日本語D、応用日本語A、応用日本語B 各①				※「日本語A・B・C・D、応用日本語A・B」は外国人留学生だけが履修できる。	
	哲学、倫理学、宗教学、生命と環境の倫理、日本史、日本近代史、日本史概説、北海道史、アジア史、東洋史概説、欧米史、西洋史概説、中東イスラム史、地誌学概説、人文地理学概説、映像文化、世界の民族音楽、東洋の美術、ヨーロッパの美術、人間の言語のしくみ、世界の言語と日本語、言語と社会、言語文化論、言語と数理、日本文学、外国文学、現代と法、日本国憲法、人権論、法學概説、くらしと現代経済、経済学概説、現代ビジネス論、社会学、北海道社会論、文化人類学、日本人類学、日本事情A、日本事情B、アジア事情A、アジア事情B、教育学、現代の福祉、現代と情報、心理学、健康科学、スポーツと健康、スポーツA、統計学、物理学、地学、地球の科学、自然地理学概説、生命科学、生物進化、生態学、北海道の生物、環境論、日本語を教えるA、日本語を教えるB 各②				6単位以上選択必修 ※外国人留学生は「日本事情A・B」を指定必修とする (この科目は外国人留学生だけが履修できる)	
		スポーツB②				
	キャリア	キャリア数学A① 職業と人生Ⅰ②	キャリア数学B① 職業と人生Ⅱ②	キャリア数学C① 職業と人生Ⅲ② 職業と人生Ⅳ②		
	総合	教養ゼミナールA、教養ゼミナールB 各②	企業の経営と仕事 ②			
			全学共通特別演習A、全学共通特別演習B 各②	全学共通特別演習C、全学共通特別演習D 各②		
		地域貢献A②、地域貢献B②、地域貢献C②、地域貢献D②、地域貢献活動A①、地域貢献活動B①、地域貢献活動C①、地域貢献活動D①				
グローバル科目群	異文化グループワークA、異文化グループワークB、プロジェクトマネジメント入門、TOEICトレーニングA、TOEICトレーニングB 各②					
		TOEICトレーニングC、TOEICトレーニングD 各②				
		海外スタディⅠ、海外スタディⅡ、グローバルインターンシップⅠ、グローバルインターンシップⅡ、グローバルボランティアⅠ、グローバルボランティアⅡ 各②				
計					教養科目計 24単位以上	
区分	1年次	2年次	3年次	4年次		
専門科目	実用英語	◎英文講読A、◎英文講読B、◎Oral CommunicationA、◎Oral CommunicationB ◎English WritingA、各②	◎英文講読C、◎英文講読D、◎Oral Communication C CALL演習、◎English WritingB、English WritingC 英語圏の社会A、英語圏の社会B 英語コミュニケーション論A、英語コミュニケーション論B Business EnglishA、Business EnglishB Speech MakingA、Speech MakingB 各②	Discussion、Current English、資格・検定英語 各②		18単位指定必修 ◎は必修とする。
		Oral Communication D ② ※注4				
	英語学	英語文法論A、英語文法論B 各②				英語学から4単位以上選択必修
			英語音声学A、英語音声学B 各②	英語学A、英語学B 各②		
	英米文学	英米文学への誘い ②				英米文学から4単位以上選択必修
			英米文学史A、英米文学史B、英米文学史C 各②	英米文学の世界A、英米文学の世界B、英米文学の世界C、英米文学の世界D 各②		
	英語コミュニケーション					英語コミュニケーションから4単位以上選択必修
			コミュニケーションスキルズ基礎 ②	異文化コミュニケーションスキルズA、異文化コミュニケーションスキルズB 各②		
	英米文化	英米文化論A、英米文化論B 各②				英米文化から4単位以上選択必修
		留学・観光英語A、留学・観光英語B 各②		英米社会研究A、英米社会研究B 各②		
演習			◎専門ゼミナールA、◎専門ゼミナールB 各②	◎専門ゼミナールC②、専門ゼミナールD② 卒業論文⑥	6単位指定必修 ◎は必修とする。	
計					専門科目計 62単位以上	
合計					124単位以上(注1)	

注1:英語英米文学科の卒業要件は、教養科目24単位以上+専門科目62単位以上 (十教養科目または専門科目から38単位以上) =124単位以上の修得となります。

注2:科目名に続く○内の数字は単位数を表します。

注3:他学部他学科授業科目の単位を修得した場合、別に定める区分に従い、教養科目として8単位(教養科目群から修得すべき最低修得単位数からは除く)、専門科目として24単位を上限に課程修了の要件に加算します。

注4:Oral Communication Dは、All English Camp (宿泊を伴う夏期集中講義)です。

《2017年度入学生に適用》

## 2. 英語英米文学科履修上の必要事項

### 専門ゼミナール

#### 専門ゼミナールA・B・C

- (1) 専門ゼミナールA・B・Cは3年次前期(2単位)、後期(2単位)及び4年次前期(2単位) 配当の必修科目です。
- (2) 人数は1ゼミナール10人程度とします。
- (3) 専門ゼミナールA・B・Cの登録要件は、2年次終了時52単位以上修得していることを目安とします。
- (4) 専門ゼミナールの登録は2年次後期に実施します。

#### 専門ゼミナールD

- (1) 専門ゼミナールDは4年次後期(2単位) 配当の選択科目です。
- (2) 原則として専門ゼミナールCの担当教員が指導します。
- (3) 評価は指導教員1名で行います。
- (4) 履修条件は下記の通りとします。
  - ・3年次終了時点で80単位以上修得していること。
  - ・外国語8単位のうち4単位を修得していること。
- (5) 研究テーマについて、卒業レポートを仕上げます。字数は4000字～8000字(英文の場合1500語～3000語)を目安に指導教員が指定します。
- (6) 「卒業論文」と「専門ゼミナールD」の同時履修は原則できません。
- (7) 履修届(正式なテーマおよび指導教員の承認印が必要)を4年次の決められた期日までに教育支援課へ提出することで履修が確定します。

### 卒業論文

卒業論文は下記の要領によって行ないます。

#### (1) 単位数

卒業論文は選択科目で6単位とします。

#### (2) 作成条件

作成するにあたっての条件は下記の通りとします。

- ・3年次終了時点で80単位以上修得していること。
- ・外国語8単位のうち4単位を修得していること。

#### (3) 手続

4年次において履修届とともに卒業論文履修(登録)届(正式なテーマおよび指導教員の承認印が必要)を教育支援課に提出してください。

#### (4) 指導体制

指導は原則として専門ゼミナールの担当教員が行ないます。

## (5) 提出期限

4年次の12g津の指定された期日までに所定の会場(後日指示)へ提出してください。なお、この時刻に遅れた者の卒業論文は、いかなる理由があっても受けとりません(指導教員に直接渡しても無効となります)。また、原則として本人が自ら提出するものとします。

## (6) 様式

- ◆ 表紙にはテーマ、指導教員名、提出者氏名、提出年月日を記入してください。なお、クロス表紙、黒ひも、表紙に貼るラベル等は生協でセット販売します。
- ◆ 論文の執筆は、ペン又はボールペンを用いてください。尚、パソコンの使用も可とします。
- ◆ 論文には目次を付し、頁数を必ず記入してください。

## (7) 評価

評価は主査と副査の2名で行います。

## (8) 卒業報告集

卒業報告集は、卒業論文又は専門ゼミナールの研究テーマの内容を要約したものを掲載する。原稿については、期限までに全員提出すること。詳細は後日ゼミナールCの時間に担当教員から連絡するので留意ください。

## (9) その他

- ◆ 複数で書く場合には2～3人以内とし、執筆分担を明記してください。
- ◆ 枚数は、英文の場合ダブルスペース(1行おき)で20枚以上、和文の場合は、400字詰め原稿用紙換算で30枚以上です。
- ◆ 過年度に「卒業論文」を履修した者のうち、論文を提出しなかった者あるいは論文を提出したが、単位を修得できなかった者については、指導教員の許可を得た場合に限り、前期に論文を提出することができます。

## 再試験制度

人文学部(人間科学科・英語英米文学科)では、卒業年次生を対象に再試験を実施します。再試験は、卒業学年において最終評価がDでかつ得点が40点以上で不合格となった人文学部専門科目(他学部授業科目で単位を修得した場合に専門科目として単位が認定される科目は除く)に対して行う試験で、次の要領で実施します。

(1) 対象者(以下の要件をすべて満たす者)

- ①卒業年次生のみが対象となります(前期は、再試験を受験して合格することで前期末卒業が可能となる学生に限ります)。
- ②卒業に必要な修得単位数を、4単位以内で満たすことができる者が対象となります。
- ③再試験受験にあたって、当該科目担当教員の指示に従わなければなりません。

## (2) 対象科目

再試験の対象科目は、当該卒業年次に履修登録し、最終評価がDでかつ得点が40点以上で不合格になった人文学部専門科目で、卒業に必要な修得単位数の不足単位(4単位以内)分とします。

卒業年次の年度の専門科目のうち、再試験を実施する科目は、ガイダンス資料で発表するので確認してください。

なお、人文学部他学科の専門科目については、開講学科において再試験対象科目と定められた科目に限り再試験対象とします。対象となる科目は各学科の新年度のガイダンス資料を参照してください。

## (3) 評価

再試験の成績評価は所定の基準により、C(可)またはD(不可)とします。

## (4) 受験料

再試験を受験する者は、指定された期間に再試験料(1科目につき1,000円)を添えて所定の手続きをしなければなりません。

## (5) その他

- ①再試験に対する追試験は実施しません。
- ②非常勤講師が担当する講義の再試験は実施しません。
- ③再試験受験対象科目は人文学部より指定します。
- ④後期に再試験を実施する場合、前期科目は対象外とします。

## 半期海外留学制度

英語英米文学科では、2年生後期に半期海外留学プログラムを実施します。留学先は、本学の提携大学であるカリフォルニア大学デーヴィス校(アメリカ)、エクセター大学(イギリス)から選択できます。

留学期間は約4～5ヵ月間で、在学期間に算入されます。留学期間中に修得した単位は、24単位を上限として認定され、4年間で卒業することが可能です。ただし、参加人数によっては実施しない場合もあります。

### アメリカ留学

・カリフォルニア大学デーヴィス校(University of California, Davis)

<http://www.ucdavis.edu>

歴史を誇るカリフォルニア大学デーヴィス校(UCD)は、アメリカ西海岸サンフランシスコから車で1時間の田園地帯にあり、全米一の広大なキャンパスを持ちます。留学プログラムは、英語コミュニケーション理論に裏打ちされた講義と実践、ホームステイの生活体験を通じて国際理解の増進を目的としたもので、UC Davisエクステンションによる英語集中講座、コミュニケーション論、スピーチ・メイキングなどから構成されます。

留学期間は、9月下旬～2月下旬を予定しています。

### イギリス留学

・エクセター大学(University of Exeter) <http://www.exeter.ac.uk>

エクセター大学はイギリス南西部(ロンドンより列車で2時間半～3時間程度)に位置し、イギリスで最も人気のある大学の一つで、質の高い教育と国内で最も美しいと他共に認めるキャンパスでの生活を提供しています。留学中はホームステイにてイギリス文化・社会につい



て理解を深めます。講義内容は、エクセター大学英語語学センターによる留学生のための英語集中講座を受講し、広範囲に渡る英語技能を養成するとともにイギリスの歴史や文化について学びます。

留学期間は、8月中旬～12月中旬を予定しています。

#### ◆応募資格：

本学に1年以上在学した者で、1年次終了時に36単位修得（見込みを含む）した者。  
また、前年度に取得したTOEICまたはTOEIC-I Pのスコアが380以上であること。  
エクセター大学を希望する場合はTOEICまたはTOEIC-I Pのスコアが400以上であることが望ましい。

#### ◆留学修了者の単位認定：

本人からの「単位認定願」と留学先大学が発行する成績証明書に基づき、審査の上、24単位を上限として認定します。認定できる単位は、次表のとおりです。

認定科目名	教養科目	専門科目	備考
英語IV A	1単位		
英語IV B	1単位		
英文講読D		2単位	
英語圏の社会 A		2単位	
英語圏の社会 B		2単位	
英語コミュニケーション論 A		2単位	
英語コミュニケーション論 B		2単位	
Business English A		2単位	
Business English B		2単位	
Speech Making A		2単位	
Speech Making B		2単位	
English Writing C		2単位	
Oral Communication D		2単位	
留学・観光英語 B		2単位	
合計	2単位	24単位	24単位上限

#### (1) 履修登録

- ①前期に履修出来る単位数は24単位までとします。必ず「留学・観光英語A」を履修してください。
- ②前項「留学修了者の単位認定」の表に記載されている科目は、留学先で授業を受け帰国後単位認定するので履修登録の必要はありません。  
本学で前期に開講されていても履修登録はしないようにしてください。

#### (2) 留学費用

下記の留学費用が必要です。

- ①留学先大学の授業料
- ②ホームステイ費用
- ③渡航費、海外傷害保険、その他個人的費用

### (3) 奨学金制度

留学者にはひとり20万円～40万円の奨学金を給付する制度があります。

学業成績や留学の動機、語学力などを総合的に審査して奨学生を選考します。申し込みにあたっては、TOEICまたはTOEIC-IPのスコアが380以上であることが必要です。受験にあたっては、十分な準備をして臨んでください。

### 短期海外研修 — 留学・観光英語 A・B について —

「X. 外国留学制度と短期海外研修について」を参照してください。

### 再履修について

過年度に履修し単位を認定された授業科目を再履修することはできません。

## 5. 英語英米文学科専門科目開講一覧表 2023年度

○は必修 □は留学先でのみ開講 【担当者】は非常勤講師

系列	授業科目名	単位	学年	2023 担当者	備考
専 門 英 語 英 米 学 科	○英文講読 A	2	1	(1) 眞田 敬介 (2) 菅原 秀二	1 組 指定 前期 2 組 指定 前期
	○英文講読 B	2	1	(1) 中村 敦志 (2) 眞田 敬介	1 組 指定 後期 2 組 指定 後期
	○英文講読 C	2	2	(1) 菅原 秀二 (2) 岡崎 清	1 組 指定 前期 2 組 指定 前期
	○英文講読 D (半期海外留学生は 留学先科目として認定)	2	2	(1) 山添 秀剛 (2) 岡崎 清	1 組 指定 後期 留学先 2 組 指定 後期 留学先
	○Oral Communication A	2	1	(1) B. J. Muir (2) I. C. Lin (3) Jr. J. C. Koch	前期 クラス指定
	○Oral Communication B	2	1	(1) B. J. Muir (2) I. C. Lin (3) Jr. J. C. Koch	後期 クラス指定
	○Oral Communication C	2	2	(1) 高橋 ヘレン (2) D. A. Hammett (3) 【M. J. Cotter】	前期 クラス指定
	CALL演習	2	2	D. A. Hammett	前期
	○English Writing A	2	1	(1) 高橋 ヘレン (2) B. J. Muir (3) I. C. Lin (4) Jr. J. C. Koch	後期
	○English Writing B	2	2	(1) 高橋 ヘレン (2) B. J. Muir (3) I. C. Lin (4) Jr. J. C. Koch	前期
	English Writing C	2	2	(1) 高橋 ヘレン (2) Jr. J. C. Koch	後期 留学先
	Discussion	2	3~4	I. C. Lin	前期
	Current English	2	3~4	B. J. Muir	後期
	資格・検定英語	2	3~4	(1) 中村 敦志 (2) 眞田 敬介	後期
	Oral Communication D	2	1~4	Jr. J. C. Koch I. C. Lin B. J. Muir	夏期集中 留学先
	□英語圏の社会 A	2	2		留学先
	□英語圏の社会 B	2	2		留学先
	□英語コミュニケーション論 A	2	2		留学先
	□英語コミュニケーション論 B	2	2		留学先
	□Business English A	2	2		留学先
□Business English B	2	2		留学先	
□Speech Making A	2	2		留学先	
□Speech Making B	2	2		留学先	

系列	授業科目名	単位	学年	2023 担当者	備考
英語学	英語文法論 A	2	1~2	山添 秀剛	前期
	英語文法論 B	2	1~2	山添 秀剛	後期
	英語音声学 A	2	2	眞田 敬介	前期
	英語音声学 B	2	2	眞田 敬介	後期
	英語学 A	2	3~4	山添 秀剛	前期
	英語学 B	2	3~4	眞田 敬介	後期
英米文学	英米文学への誘い	2	1~2	中村 敦志	前期
	英米文学史 A	2	2	西 真木子	前期
	英米文学史 B	2	2	西 真木子	後期
	英米文学史 C	2	2	岡崎 清	後期
	英米文学の世界 A	2	3~4	西 真木子	前期
	英米文学の世界 B	2	3~4	西 真木子	後期
	英米文学の世界 C	2	3~4	岡崎 清	前期
	英米文学の世界 D	2	3~4	中村 敦志	後期
英語コミュニケーション	コミュニケーションスキル 基礎	2	2	Jr. J. C. Koch	前期
	異文化コミュニケーションスキル A	2	3~4	水島 梨紗	前期
	異文化コミュニケーションスキル B	2	3~4	水島 梨紗	後期
英米文化	英米文化論 A	2	1~2	【熊谷由美子】	前期
	英米文化論 B	2	1~2	岡崎 清	後期
	留学・観光英語 A	2	1~4 1~3 2	(1) D. A. Hammett (2) D. A. Hammett (3) 高橋 ヘレン	前期・短期研修前必修 後期・短期研修前必修 前期・半期留学前必修
	留学・観光英語 B	2	1~4 1~3 2 1~3	(1) D. A. Hammett (2) D. A. Hammett (3) - (4) 休講	夏期（短期研修先） 春期（短期研修先） 留学先 春期（短期研修先）
	英米史 A	2	2~4	菅原 秀二	前期
	英米史 B	2	2~4	【田村 理】	後期
	英米社会研究 A	2	3~4	【田村 理】	前期
	英米社会研究 B	2	3~4	【三浦 順子】	後期

専 門 演 習 目	○専門ゼミナールA	2	3	岡崎 清 Jr. J. C. Koch 西 真木子 水島 梨紗 山添 秀剛 照山 秀一	前 期
	○専門ゼミナールB	2	3	岡崎 清 Jr. J. C. Koch 西 真木子 水島 梨紗 山添 秀剛 照山 秀一	後 期
	○専門ゼミナールC	2	4	Jr. J. C. Koch 真田 敬介 中村 敦志 西 真木子 水島 梨紗 【釣 晴彦】	前 期
	専門ゼミナールD	2	4	Jr. J. C. Koch 真田 敬介 中村 敦志 西 真木子 水島 梨紗 【釣 晴彦】	後 期
	卒業論文	6	4	Jr. J. C. Koch 真田 敬介 中村 敦志 西 真木子 水島 梨紗 【釣 晴彦】	通 年

○は必修

